

2.80～3.00である。

**定量法** 本品20個以上をとり、その質量を精密に量り、粉末とする。葉酸( $C_{19}H_{19}N_7O_6$ )約0.05gに対応する量を精密に量り、希水酸化ナトリウム試液50mLを加え、しばしば振り混ぜた後、100mLのメスフラスコにろ過し、希水酸化ナトリウム試液で洗い、ろ液及び洗液を合わせ、更に希水酸化ナトリウム試液を加えて100mLとし、試料溶液とする。別に葉酸標準品約0.05gを精密に量り、希水酸化ナトリウム試液に溶かし、正確に100mLとし、標準溶液とする。試料溶液及び標準溶液30mLずつを正確に量り、以下「葉酸」の定量法を準用する。

葉酸( $C_{19}H_{19}N_7O_6$ )の量(mg)

$$= \text{脱水物に換算した葉酸標準品の量(mg)} \times \frac{A_T - A_c}{A_s}$$

#### 貯 法

保存条件 遮光して保存する。

容 器 密閉容器。

### 葉酸注射液

Folic Acid Injection

本品は水性の注射剤で、定量するとき、表示量の95～115%に対応する葉酸( $C_{19}H_{19}N_7O_6$ :441.40)を含む。

**製 法** 本品は「葉酸」とり、「水酸化ナトリウム」又は「炭酸ナトリウム」を用いて溶かし、注射剤の製法により製する。

**性 状** 本品は黄色～だいだい黄色澄明の液である。

pH: 8.0～11.0

#### 確認試験

(1) 本品の表示量に従い「葉酸」1.5mgに対応する容量をとり、希水酸化ナトリウム試液を加えて100mLとする。この液につき、以下「葉酸」の確認試験(2)を準用する。

(2) (1)の液につき、紫外可視吸光度測定法により吸収スペクトルを測定するとき、波長255～257nm, 281～285nm及び361～369nmに吸収の極大を示す。また、255～257nm及び361～369nmの吸収極大の波長における吸光度を $A_1$ 及び $A_2$ とするとき、 $A_1/A_2$ は2.80～3.00である。

(3) 本品はナトリウム塩の定性反応(1)を呈する。

**定量法** 本品の葉酸( $C_{19}H_{19}N_7O_6$ )約0.05gに対応する容量を正確に量り、希水酸化ナトリウム試液を加えて正確に100mLとし、試料溶液とする。別に葉酸標準品約0.05gを精密に量り、希水酸化ナトリウム試液に溶かし、正確に100mLとし、標準溶液とする。試料溶液及び標準溶液30mLずつを正確に量り、以下「葉酸」の定量法を準用する。

葉酸( $C_{19}H_{19}N_7O_6$ )の量(mg)

$$= \text{脱水物に換算した葉酸標準品の量(mg)} \times \frac{A_T - A_c}{A_s}$$

#### 貯 法

保存条件 遮光して保存する。

容 器 密封容器。本品は着色容器を使用することができる。

### ヨウ素

Iodine

I : 126.90

本品は定量するとき、ヨウ素(I)99.5%以上を含む。

**性 状** 本品は灰黒色の板状又は粒状の重い結晶で、金属性の光沢があり、特異なにおいがある。

本品はジエチルエーテルに溶けやすく、エタノール(95)にやや溶けやすく、クロロホルムにやや溶けにくく、水に極めて溶けにくい。

本品はヨウ化カリウム試液に溶ける。

本品は常温で揮散する。

#### 確認試験

(1) 本品のエタノール(95)溶液(1→50)は赤褐色を呈する。

(2) 本品のクロロホルム溶液(1→1000)は赤紫色～紫色を呈する。

(3) 本品の飽和水溶液10mLにデンプン試液0.5mLを加えるとき、液は暗青色を呈し、これを煮沸すると消え、冷却するとき、再び現れる。

#### 純度試験

(1) 昇華残留物 本品2.0gを水浴上で加熱して昇華させ、残留物を105°Cで1時間乾燥するとき、その量は1.0mg以下である。

(2) 塩化物又は臭化物 本品を粉末とし、その1.0gを水20mLとよくすり混ぜてろ過し、ろ液10mLに薄めた亜硫酸水(1→5)を黄色が消えるまで滴加し、これにアンモニア試液1mLを加え、更に硝酸銀試液1mLを少量ずつ加え、水を加えて20mLとし、よく振り混ぜてろ過する。初めのろ液2mLを除き、次のろ液10mLをとり、硝酸2.0mL及び水を加えて20mLとするとき、液の混濁は次の比較液より濃くない。

比較液: 0.01mol/L 塩酸0.20mLに水5mL、アンモニア試液2.5mL、硝酸銀試液1mL、硝酸2.0mL及び水を加えて20mLとする。

**定量法** 共栓フラスコにヨウ化カリウム1g及び水1mLを入れて質量を精密に量り、これに本品約0.3gを加え、再び精密に量る。次に穏やかに振り動かして溶かした後、水20mL及び希塩酸1mLを加え、0.1mol/Lチオ硫酸ナトリウム液で滴定する(指示薬: デンプン試液1mL)。

0.1mol/Lチオ硫酸ナトリウム液1mL = 12.690mg I

貯 法 容 器 気密容器。